

新冠町地域公共交通活性化協議会 平成21年2月16日設置



概要

新冠町は、海岸沿いに中心市街地を形成し、内陸に向かって長く伸びる2つの沢に集落・民家が点在しており、内陸部は道南バス路線により地域住民の足を確保しているが、利用者が固定化していること、さらに利用者数が極めて少ないため、運行赤字に対する財政負担が問題となっている。一方、行政目的としてスクールバス6台がほぼ町全域を網羅する形で運行していることから、スクールバスの有効活用や利用実態等に合ったデマンド型交通への転換、町外への移動を考慮したJR及び沿岸路線バスへの接続による効率的な交通体系の確立等の調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・JR日高本線(大狩部駅、節婦駅、新冠駅)
- ・道南バス(株)(泉線、厚賀・太陽線、町内経由2路線)
- ・スクールバス(6台、6路線)
- ・健康推進バス(病院通院患者及び温泉利用者送迎)

○地域公共交通の課題

- ・高齢者等の生活交通の確保
- ・マイカーへの依存度が高く、路線バスの利用が低調
- ・路線バスの運行の効率化及びスクールバスの有効活用
- ・不便地域、交通空白地域の存在

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・厚賀太陽線対象地域におけるデマンド方式の試験運行

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・バス路線の再編・スクールバスへの一般住民の混乗
- ・デマンド型交通の導入
- ・JRと路線バスとの接続改善

